

公開シンポジウム「水産学と日本水産学会の未来」

- 1 主 催：日本学術会議水産学分科会、日本水産学会
- 2 日 時：平成 20 年 3 月 31 日（月）9:30～17:00
- 3 場 所：東海大学海洋学部（静岡県静岡市清水区折戸 3-20-1）
- 4 次 第：

開催趣旨

近年の産業構造・経済情勢の変化と学問分野の多様化・専門化により、水産学、水産科学を取り巻く情勢は大きく変化しつつある。日本学術会議水産学分科会と日本水産学会は、今、社会と学問の動向をしっかりと見据え、大きく進化する時が来た。そこで、「水産学とは何か?」「水産学会とは何か?」根源的な問いに立ち返り、水産学と日本水産学会の未来を模索する必要があるため、日本学術会議水産学分科会と日本水産学会が共同でシンポジウムを主催し、水産学の再生とさらなる発展のための具体的・実践的な改革案を得ることを狙いとしました。

プログラム（案）

開会挨拶と趣旨説明 9:30～ 青木 宙（東京海洋大学教授）

1. 学会の役割とあり方 9:40～

座長 竹内俊郎（東京海洋大学教授、大学院海洋科学技術研究科長、
日本学術会議水産学分科会幹事）

- (1) 水産試験場 永田光博（北海道孵化場）
- (2) 民間企業 未定
- (3) 水産研究所 独立法人水研センター研究者（未定）
- (4) 大学 伏見 浩（福山大学）
- (5) 連携 山内皓平（北海道大学大学院水産科学研究院特任教授、
日本学術会議会員、日本学術会議水産学分科会委員長）

座長のまとめ

2. ランチョンセミナー 12:00～

座長 塚本勝巳（東京大学海洋研究所教授、日本学術会議水産学分科会委員）

- (1) 新素材の機能と応用 又平芳春（焼津水産化学工業）
- (2) 産学連携のススメ 矢澤一良（東京海洋大学）
- (3) ジャーナリストの目 井田徹治（共同通信社）

3. 改革のアクションプラン 13:30～

座長 渡部終五 (日本水産学会副会長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授、
日本学術会議水産学分科会委員)

- (1) 財務 本城凡夫 (九州大学教授)
- (2) 研究 塚本勝巳
- (3) 社会連携 東海 正 (東京海洋大学教授)
- (4) 政策 黒倉 寿 (東京大学教授)

座長のまとめ

4. パネルディスカッション 15:30～

座長 青木 宙

パネラー

會田勝美 (日本水産学会会長、日本学術会議水産学分科会副委員長)
各地方支部若手会員 7 名

閉会挨拶 山内皓平 17:00

※事前登録は必要ありません。

問い合わせ先 塚本勝巳 東京大学海洋研究所 TEL03-5351-6517